



10/26 小学生がプロラグビー選手と交流

ジャパンラグビーリーグワンに所属する「クボタスピアーズ船橋・東京ベイ」の選手らが創業者の出生地である因島を訪れ、26日には選手ら約20人が、因北小学校の5・6年生93人を対象にラグビー教室を開催しました。

児童たちは選手とパス回しをしたり、タックルの代わりに腰に着けたタグを奪う「タグラグビー」に挑戦。選手からアドバイスを受けながら、ラグビーを楽しんでいました。



11/1~3 尾道ベッチャー祭

無病息災を願い江戸時代から続く「尾道ベッチャー祭」が開催され、3日にはベタ、ソバ、ショーキーの3鬼神の練り歩きがありました。3鬼神に叩かれると病気平癒や頭が良くなるなどのご利益があると言われており、子どもの健康を祈り、子を鬼神達に近づける親と、恐怖で泣き叫ぶ子どもの姿が多く見られました。

今年は3年ぶりに例年どおりの形式での開催となり、一行は感染対策を講じながら、商店街や住宅街を練り歩きました。



11/13 尾道市文化協会創立40周年記念 尾道小径散策秋の茶会

3年振りに、「尾道小径散策秋の茶会」を開催しました。当日は雨予報で天候を心配していましたが、会員の皆さんの思いが届いたのか、ほとんど雨にも遭わず開催することができました。

新型コロナの感染防止対策を施した中での茶会となりましたが、各流派が工夫を凝らした久しぶりの茶会を、訪れた人は各々にお茶と会場の雰囲気を楽しまれました。



11/20 巨大地震に備え、防災訓練

防災ラジオを使用し、南海トラフ巨大地震を想定した防災訓練が実施されました。訓練放送に合わせ、地震の揺れから身を守る訓練や津波からの避難訓練が行われました。

放送訓練のあとは、各地域で避難訓練や防災の講習会などが開催され、約4,200人が参加しました。このうち、栗原小学校の会場では、則末自主防災会による訓練が行われ約120人が参加。はしご車搭乗体験やAED取扱訓練、防災土による講話などを通じ、防災意識を高めました。